



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども

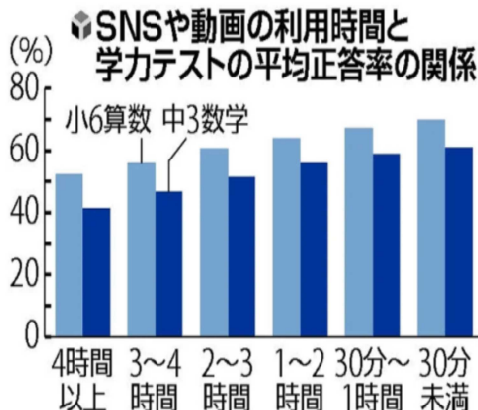


来週はヘルハピ週間です！

来週の11日(月)から15日(金)の5日間、「おうちヘルハピ」週間となります。今回の内容は「メディアの使用時間」についてです。

昨年度、文部科学省が「全国学力・学習状況調査」で実施した、児童生徒の生活や学習状況を尋ねるアンケートで、スマートフォンや携帯電話でSNSや動画視聴に費やしている時間を調べ、平均正答率との関係を分析しています。それによると、SNSの利用や動画視聴の時間が長いほど、教科ごとの正答率は低くなり、特に算数・数学においては顕著であることが公表されています。

今の時代、スマートフォンやSNSは生活に欠かせないものとなっている現実を踏まえた上で、家庭でのスマホの適切な使い方についてルール作りが必要です。



※携帯電話やスマホを持っている人のみ。学習やゲームを除く平日1日あたりの時間

5年 役場見学(12月1日(金))

役場見学では、最初、庁舎内を見学しながら、各部署の業務について説明をしていただきました。

その後、町職員から町の抱える課題やその解決のための取組、計画などについてお話を聞きことができました。皆、熱心に耳を傾けていました。

将来、5年生の中からふるさと八峰町の未来を担う町長さんが生まれるかもしれません。



今週の一枚

12月6日(水)、4~6年生を対象とした「県学習状況調査」がありました。

4年生は三教科(国・算・理)と質問紙調査、5・6年生は四教科(国・算・理・社)と質問紙調査しました。

一校時から五校時まで、子どもたちも積極的に取り組んでいました。

集まりました。学校報にてお知らせする予定です。

12月の児童集会 寒さに負けない体力づくりを

12月1日(金)の児童集会で、生活委員会から、冬の体力づくりとして縄跳びに取り組みようという呼びかけがありました。



「体を上手く動かす能力(調整力)」は、脳の発達と関連し、5歳から11歳までが一番磨かれる時期と言われます。多彩な技と動きのある縄跳びは、調整力を高めるのに最適な運動の一つです。寒さに負けず、積極的に体力づくりに励んでほしいです。

[連絡・お願い]

◇「学校生活」アンケートについて

本日、学校生活についての保護者アンケートを配付しております。提出締め切りは12月15日(金)です。

ご多用中のことと存じますが、ご協力をお願いいたします。



授業の様子から



【1年】算数

算数のテストに臨んでいます。落ち着いた姿に大きな成長を感じ、驚かされます。



【2年】図工

ストローを材料にした「ストロケット」を作りました。輪っかにした紙とストローを接着させるのが難しかったようですが、友達と協力しながら、楽しく作りました。



【3年】体育

前転練習です。安全かつスムーズにできるよう、教師が補助をしながらアドバイスしました。回数を経るごとに子どもたちの前転が改善していきました。



【4年】体育

跳び箱です。跳び方を動画で撮影し、それを見ながらアドバイスを受けています。視覚化することで、より正しい跳び方をイメージしながら取り組むことができます。



【5年】外国語

日本のお正月の過ごし方についてのやり取りを聞き取り、その内容を確認しました。その際、滝廉太郎作曲の童謡「お正月」を歌えない人が意外に多くて、びっくりでした。



【6年】算数

1組から3組の長縄跳びの練習データをドットプロットに表して、その特徴や傾向を分析し、各クラスに与える賞を考えています。6年生ともなると、勉強が難しくなりますね。



掃除と料理は関係ないものと思われがちですが、仕事人の資質を育てるためには大切なことであり、それを積み重ねることがプロになるための道であるということなのだと思いました。これは私たちの学校生活にも言えることです。毎日の様々な取組が将来の自分をつくる礎になるのです。

仕事に最も必要なのは「我慢」である。弟子入りするとすぐに魚をさばいたり、天ぷらを揚げたりしたがるものだが、まずは掃除から入り、それを何年も続けることが職人を育てることになる。掃除が早くできるようになることは、天ぷらを早く揚げるようになる。

つばき
学校生活の意義について考えてみよう

皆さんは、NHKで放映されている『プロフェッショナル 仕事の流儀』という番組を知っていますか。様々な分野の第一線で活躍中のプロの「仕事」を徹底的に掘り下げるドキュメンタリー番組です。

数年前に「10代 プロに弟子入りSP」という企画が放映されていました。16、19歳の出演者を一般から募集し、選考をくり抜けた10代の若者9人が、日本最高峰のプロに弟子入りし、人生や仕事の意味を知る特別編でした。

ビル清掃員やプロの編集者などに弟子入りする若者が紹介される中、天ぷら職人・早乙女哲哉さんのお話が特に印象に残りました。早乙女さんのお話を簡単に紹介します。